

よつくら通信

文責；いわき市立四倉小学校長 小川幸一

「最高の仲間を信じて 思い出に残る学習発表会にしよう」

台風19号並びに大雨による浄水場水没に起因する断水被害を受け、一週間遅れて11月2日に学習発表会が行われました。今回も、代表委員会を中心に全校児童で考え、このスローガンができました。うれしいことは自分の学級、学年の友達を「最高の仲間」と表現していること。そして最高の仲間であるからこそ信じ合い、協力し合おうという意気込みが感じられることです。このスローガンのもとに、一週間のブランクを感じさせない練習を展開し、当日はたくさんの拍手をいただきました。特に、1年生の場合、幼稚園等では音楽劇（登場人物の台詞と音楽が流れ、これに合わせて話す劇）であったにもかかわらず、台詞も演技も自分の声で、自分の体で表現しなければならない、いわゆる劇の学習をし、「どろぼう がっこう」という劇を、コミカルにそしてかわいらしく表現できました。どの学年も本当によくがんばりました。

<1年生>

開幕のことば

劇；どろぼう がっこう



初めての学習発表会。ゆっくり、はっきり台詞を話すことができ、面白さがよく伝わりました。堂々としていました。

<2年生>

劇

黒にんじゃ とうじょう



早口言葉やダンスが上手にでき、最後まで目の離せない素敵な劇になりました。話に合わせた振り付けも上手でした。

<3年生>

英語劇

ももたろう



「桃太郎」のお話を英語で表現する劇。ALTの先生にも英語での表現の仕方を教わり、とってもよく分かる話し方でした。

<4年生>

合奏・歌

L et's enjoy music



今流行の「パプリカ」は、本当に楽しそうに歌いながら踊ることができました。「ルパンIII世」の曲も磨きがかかりました。

<5年生>

ダンス

A ggressive! T eam44



アグレッシブな曲に合わせて次々と繰り広げられるいろいろな運動、技は圧巻でした。5年生の頑張り、見事でした。

<6年生>

劇；杜子春

閉幕のことば



背景画、小道具、照明、衣装、振り付け、すべて自分たちで行いました。主題を理解し、最高の仲間と創り上げた作品です。

1 2 月 の 行 事

3日(火) 集金日 (低)
4日(水) お弁当の日 集金日 (中)
 5年スチューデントシティ
 5日(木) 集金日 (高) 個別面談 下校 13:45
 5年絆プロジェクトタイル絵付け
 6日(金) 個別面談 下校 13:45
7日(土) 土曜授業 下校時刻 11:30
 9日(月) 個別面談 下校 13:45
 10日(火) 個別面談 下校 13:45
 ~ 1/7 年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動

11日(水) 個別面談 下校 13:45
 12日(木) 5年絆プロジェクトタイル色塗り
 18日(水) 登校班話合い
24日(火) 第2学期終業式 下校 11:30
25日(水) 冬休み (~1月7日)
 土曜学習(書き初め)
 29日(日)~1月3日(金) 学校閉庁日
 年末年始休日

1月8日(水) 第2学期始業式 下校 11:30

<心の教育相談員来校日>

3・6・9・11・16・18日

<学校司書来校日>

5・6・12・13・19・20日

6年生 インドネシアのアチェ州との交流

本校ではいわき市唯一のユネスコスクールとしてESD教育に取り組んでいることは周知の通りです。この活動の一環として、インドネシアのアチェ州から派遣されている日本視察団と12日(火)に、6年生が交流をしました。

6年生からは四倉の町の様子や小学校での学習内容についての紹介をしました。アチェ州の方々からもインドネシアの文化(特に宗教)や地理についての紹介がありました。その後6年生が日本の遊びや武道、習字などを教え、体験していただきました。



校内持久走記録会

22日(金)に、校内持久走記録会が行われました。本校では、毎朝校庭を走り体力作りをしていますが、11月からはこの日のために、毎週2回、休み時間に全校で持久走の練習を重ねてきました。当日は数名の子どもが体調不良で見学しましたが、参加した全児童が最後まで走りきることができたことがとてもうれしく思いました。

持久走の素質の有無に関係なく、毎日努力していた児童はやはり自分の記録を更新できました。朝の運動に限らず全児童がいつも全力でコツコツと学習や運動に励むことを願っています。



ゲーム、SNS、インターネットの子どもへの影響

左のグラフは、国立病院機構久里浜医療センターが27日に発表したゲームと生活習慣の実態調査の結果報告です。(28日付福島民報新聞より) WHOは、今年5月に心身に問題が起きてもゲームをやめられない状態を「ゲーム障害」と認定しました。グラフを見て分かるように、ゲームをする時間が長いほどゲーム障害になる割合が高いことが分かります。しかし、これは小さい頃からの生活習慣が原因と考えます。自制心を育てるにはやはり親の関わりが一番。SNSやインターネットによるトラブルも大きな問題に発展します。YouTubeの視聴にも注意が必要です。

親として子どもに使わせる場合にはリスクを考えてください。そして、親自身も使い方を考えてください。

